

## 一般質問

### 学校と教育委員会と首長部局の連携と役割分担等について

**【菅】** ①学校施設整備基本計画の改定について、学校改築は市の一大事業なので、市長と教育委員で構成する総合教育会議を活用してほしい。②教育委員会が、教師の負担軽減や事務の効率化にむけて、学校事務職員の知見を生かして教材の共同調達など、学校支援体制を整備するか。

**【小美濃市長】** ①様々なプロセスを通じてながら丁寧に進めていく。

**【教育部長】** ②学習者用コンピュータなど予算規模の大きいものは共同

調達している。その他は学校が児童生徒の実態に応じて調達する。

**【コメント】** ①は公共施設の床面積の約半分を占める学校改築が本格化するなか、市長と教育委員が連携して一定の方向性を判断してほしいとの趣旨で尋ねました。②は「隠れ教育費」と呼ばれる私費負担の関係でも質問しましたが、学校の判断との姿勢は固いです。

### 中央線市内三駅のホームドア設置について

都が費用の3分の1の補助を決め、JRが28年度までの設置を表明した。

**【菅】** ①JRの説明はあったか。②そ

の場合に市の負担は不要か。

**【小美濃】** ①JRはないが都の説明を受けた。②負担は不要。

**【コメント】** 12月議会でも一般質問しましたが、状況が大きく動いたため改めて取り上げました。遅くとも4年後には3駅とも設置完了する予定です。



ホームドア設定予定の武蔵境駅ホーム

## 総務委員会での議案・行政報告

市長・副市長・教育長の特別職と市議会議員の給与・報酬について、特別職報酬等審議会による増額改定答申を受けて条例が提出され、賛成しました。討論では物価や賃金の上昇とともに、議会の役割や議員一人ひとりの業務量の増大を理由に挙げました。前回改定した96年度と比べると、常任委員会の所要時間は行政報告などを含め、約58時間から約120時間へと倍増しています。報酬等審議会の答申も、議会基本条例が制定され、市民との意見交換会や子ども議会の開催、議会だよりリニューアル、本会議・委員会のインターネット中継など、広報・広聴の充実強化にも取り組んできた状況をふまえたものと認識します。あわせて会計年度任用職員の処遇改善や、有償ボラ

ンティアの手当などのあり方、物価高から市民生活を守る施策の議論を進めることも約束しました。

基金管理方針が改定され、従来の預金による短期運用中心から債券との組合せで、10年を上限に複数ある基金を一括運用する条例改正が提出され、賛成しました。

25～29年度の第9次職員定数適正化計画の策定についての行政報告では、「職員数の削減に主眼を置く従来の手法では、安定した行政運営を続けていくことは難しくなる」として、24年度配置定数780名を、過員の定数化、定数増減見込み、働き方改革の増員で、29年度896名に増やす方向が示されました。人件費の増加は避けられませんが、人口や予算規模にあった適正な職員配置は必要と評価します。

立憲民主党は予算案に対して、ガソリン価格の引下げや給食無償化、介護・保育現場の処遇改善などを提案。高額療養費自己負担上限額の引上げを全面凍結させました。さらに選択的夫婦別姓や企業・団体献金禁止にむけて、松下玲子

衆議院議員とともに東京で活動する、おくむら政佳参議院議員と連携します。おくむら議員は、昨年まで保育士として働いてきた経験を生かし、子育て支援について数々の提案を重ねています。立憲民主党の活動にご注目ください。



おくむら政佳  
参議院議員と  
連携して活動中

### 菅 源太郎 市政報告会 を行います！

市政のご報告をさせていただきます  
お気軽にご参加ください！

2025年4月19日(土)

開会 10:00～11:30 参加無料です

かたらいの道  
市民スペース  
武蔵野市中町1-11-16

### ●プロフィール

1972(昭和47)年 武蔵野赤十字病院で、菅直人・伸子の長男として誕生。栄光乃園幼稚園、市立二小・六中卒業。生徒会活動に熱を注ぐが中3で不登校。高校中退後、子どもの権利確立のための市民活動につづき、NPO法人Rights(ライツ)で18歳選挙権を実現

2003・05年 衆議院選挙(岡山1区)に挑むも落選

2010年 京都精華大学人文学部卒業後、(株)第一総合研究所勤務

2013～23年 衆議院議員菅直人秘書

2023年12月 武蔵野市議補選当選  
趣味:鉄道旅行 家族:妻、子2人

「武蔵野市議会議員」  
**菅 源太郎**

かん げんたろう

市議会会派「立憲民主ネット」  
〒180-8777 東京都武蔵野市緑町2-2-28(市役所内)

2025年春号  
vol. **06**

**市政レポート**

**2025(令和7)年度  
予算審査に臨む**

—小美濃市長の公約を点検する—

桜まつり(3月30日)

### 決算につづき 予算特別委員として

2025(令和7)年度予算審査の3月議会を迎え、12名で構成される予算特別委員に選ばれました。

この予算は「市民の命を守るまちづくり 次世代に平和な未来をつなぐ予算」と位置づけられ、小美濃市長がその編成当初から関わるとともに、市長公約を反映した第六期長期計画・第二次調整計画初年度の予算です。そのため私は、市長公約がどのように反映され実施され(ようとし)ているか、点検する視点で審査に臨みました。

### 第二次調整計画の策定は 必要だったのか

小美濃市長は1年前、公約の「武蔵野を立て直す!!」について、前市政からの転換ではなく、「コロナ前のような、本当に武蔵野市民が生き生きと毎日を過ごせる、こういった武蔵野市にまた戻していきたい」との意味だと述べ、「市政って継続していたのだなというを感じている」と答弁しました。私は公約と答弁の落差に驚きながら、歴代市政を継承する姿勢と受け止めました。

そもそも第二次調整計画の策定は必要だったのでしょうか。市の庁内推進本部は「市長公約のうち(略)読み取ることが難しいテーマに絞って策定」するとして、5つのテーマ(就労を含めた高齢者の社会参加の支援、子育て世代への外出支援、今後の学校改築のあり方の検討、吉祥寺イーストエリアのまちづくり、吉祥寺パークエリアのまちづくり)を取り上げました。市長から諮問された策定委員のなかには、24年1月に決定した第六期長期計画・(第一次)調整計画で読み取ることができるとの意見もありましたが、結局は約1年間かけて第二次調整計画が策定されました。

他方で(第一次)調整計画の「住民投票条例の制定を目指す」との記載は、市長公約の「住民投票条例は凍結」と明らかに矛盾するので、私は第二次調整計画の検討対象になると予想していましたが、「検討すると凍結でなくなる」との理由で対象から外れました。このように市長公約と長期計画の関係で、事業や予算で対応できる内容を取り上げ、そうでない内容を取り上げないことに、アンバランスを感じました。



### 市長公約を点検

それでは個別の公約はどうでしょうか。

#### 「耐震補強・家具転倒防止を徹底」

これは就任直後の24年度予算で「家具転倒防止金具等購入費補助」として1,000世帯分1,176万円が計上されました。市長は24年度施政方針で「全世帯の皆様に設置していただけるよう」と述べ、「足りなければまた補正予算をお願いする」との意気込みでしたが実績は700世帯でした。そして25年度予算は700世帯分700万円が計上されました。

たしかに従来から実施されていた高齢者や障害者対象の「家具転倒防止金具等取付事業」の件数が、23年度19件から24年度58件と急増するなど一定の効果は上がったものの、家具転倒防止対策していない全世帯の36%、約2万8千世帯を目標にするなら、40年かかる計算です。領収書があれば取付証明がなくても補助される仕組みも改善が必要ですし、具体的な取付目標の設定が求められます。

つづく携帯トイレ備蓄に関する意識啓発事業について、在宅避難が多く想定されるなかで携帯トイレの配

市政に対するみなさんの声をお聞かせください

武蔵野市議会議員 **菅 源太郎**

〒180-0006 東京都武蔵野市中町3-8-1-718

TEL. 090-3436-9761 E-MAIL info@kangentaro.com

https://kangentaro.com ☎ kangentaro 📌 菅源太郎



布は評価します。防災計画の目標備蓄率50%を達成するよう26年度の継続や、トイレトレーラーの導入を求めます。

### 「オンライン授業の実施」

24年度施政方針で「必要な場合には、オンライン授業が実施できるよう、条件整備を教育委員会とともに進めます」と述べていました。これは6月の補正予算で学習者用コンピュータの予備機300台を学校に配置するとともにオンライン授業について通知され、保護者の要望や児童生徒の様子を見ながら、小学校9校・中学校4校で実施されていることが分かりました。評価するとともにさらなる拡大を求めます。



### 「二中・六中の統廃合は白紙」

(第一次)調整計画は「第二中学校と第六中学校との統合の要否とその後の第六中学校跡地への第二小学校移転配置の可能性の有無など、改築期間中も含めて、教育面を第一に様々な観点から課題を検討」との記載でした。あくまでも「要否」なので統合ありきではなかったのですが、第二次調整計画で「子どもの学びを第一に、全市的な視点から中学校の適正な数や未来における教育を見据えた校舎のあり方について、子ども、教職員、保護者、地域の意見や専門家の知見を踏まえ、建築面や財政面など様々な観点も含めて検討」となりました。

すでに一中、五中、五小、井之頭小は事業が始まっていますが、その次に予定された二中、六中、二小、境南小は、25・26年度の学校施設整備基本計画の改定を受けて、3年後倒し

で27年度以降の事業着手となります。市立中の魅力向上が叫ばれますが、各校とも努力していると感じるだけに、市立中への進学率が劇的に上昇するとは考えにくい状況です。1校70～80億円と(仮設校舎を含む)建築費が高騰するなか、教育費の質疑で生徒数の推移を見極める、学区制は維持するとの答弁から考えると、二中と六中の統合と(仮設校舎の不要な)六中跡への二小移転の可能性は残っています。

### 「吉祥寺駅南口・東部地区の街づくりの準備に着手」

第二次調整計画で駐輪場について「駅前から一定程度離れた場所に配置」を削除し、「自転車の走行動線及び駅周辺の歩行環境の確保を考慮し、適正な自転車駐車場の配置について検討」とされました。また本町コミセンについて「移転にあわせて、中高生世代の居場所づくりなどの施設の複合化に向けた具体的な検討を進める」とされ、総務費の質疑で児童福祉法上の児童館の方向性が示されました。コミセンは協議会が指定管理を受けているため、管理主体が複数になる施設運営の課題整理が必要です。

イーストエリアの中心課題である本町コミセン移転・複合化や消防団第2分団詰所の建替えは、前市政での駐輪場の集約によって実現可能になったといえます。市長はスピード感を強調しますが、パークエリアは前市政下の23年3月に策定された「まちの将来像立案に向けて～まちづくり庁内プロジェクトからの提案～」のスケジュールに沿って進んでいるように見えます。

### 「学校給食無償化・公立学校以外にも別途支援を」

市長は給食費について、24年度予算審査の締めくり総括質疑で、24年4月の徴収猶予と6月の第2回定例会に実施のための補正予算を提出す

ると表明し、市立小・中学校は無償化しました。そして私立・国立などに通う児童生徒の保護者に、24年度は給食費支援ではなく「物価高騰対応私立等児童生徒保護者負担軽減臨時給付金」として、12月の第4回定例会の補正予算で1万円のデジタルギフトが配られました。ただ25年度は私立などの給食費支援が予算化されず不透明な状態です。



桜堤調理場の中学校給食

### 「レモンキャブを子育て世代にも」

就任直後に、レモンキャブに適用されている「福祉有償運送」は、道路運送法上で旅客の範囲が定められており、現行法の枠組みでは子育て世代は該当しないことが分かりました。第二次調整計画で記載を若干変更しましたが、これこそタクシー券等の配付による直接給付を予算化すればよいと考えます。

### 「ムーバスを水素バス化」

水素ステーションが遠いことなどからEVバス導入となりました。2050年のゼロカーボンシティの観点からも評価しており、今回の導入事例をよく検証して、今後の検討に生かしてほしいです。

また30周年を迎えるムーバスも路線バスにつづき運転士不足で減便していますが、運転士の採用と訓練が進んでいると分かりました。地域の足を守るため、公共交通事業者運行継続支援金の継続を含めて支援策を求めました。

### 「高齢者には80歳まで働ける職場を、年金+5万円」

第二次調整計画や25年度施政方針で「シルバー人材センターについて、事務局機能の強化を含め、活性化に向けた支援に取り組む」と記載されました。要求資料からセンター会員の平均収入額は月額約3万円だと分かり、これを5万円に引き上げるのが現実的と受け止めました。ところがセンターへの運営費補助金が24年度6,602万3千円から25年度6,694万2千円と微増にとどまっています。民生費の質疑で課長級職員を置いたとの答弁でしたが、これで課題とされるマッチングは強化できるのでしょうか。今後を注視します。

### 「地域医療の強化 吉祥寺地区の病院ベッドを増床」

24年9月末で診療休止となった吉祥寺南病院が別の法人に事業継承できたことは評価します。病院建設にむけた敷地面積確保などの課題整理と具体的な支援策の検討が必要です。あわせて入院基本料に対する地域加算等の診療報酬について、人件費、土地取得費、物件費等、大都市特性を十分に考慮し、国に必要な改善を要望するよう求めました。



### 一定の方向性を評価して賛成

総括質疑では、施政方針の「職員が積極的に地域に出たことで、最近(「市役所が遠くなった」との)声を聞くことはなくなりました」の根拠を尋ねましたが、市長自身の肌感覚との答弁でした。「これまで以上に市職

員が市民の方とふれあう機会を増やしていきたい」とありますが、働き方改革のなか市職員を動かすのですから、目標設定や人員の手当てが必要です。

このように前述の家具転倒防止金具や年金+5万円を含め、目標が曖昧で事後に評価・検証できません。新たな行政評価制度は「施策をどのように実施したか(アウトプット)」から「施策の実施が市民にどのような便益をもたらしたか、長期計画の目標に対してどのような効果を上げたか(アウトカム)」に着目した政策評価に進化させ、事業の評価・検証が可能な仕組みにすべきです。

24年9月の決算審査から党派を超えて取り上げている会計年度任用職員の処遇について、部課別の職員数を資料要求し、款ごとに一般職・専門職の別、人事課一括・各課採用の別を尋ねました。定数管理を始めたとの答弁でしたが、業務量や業務内容の精査や処遇改善について25年12月までに検討するにあたり、その全体像の把握が前提になると指摘しました。

あわせて議員を含む特別職、常勤職員の報酬改定に賛成する際に言及した、市民自治・地域の支え合いの理念で継続している有償ボランティアの手当などを含めた全般的な検討を求めました。

ふるさと納税による税額控除影響額が約17億円と増加の一途です。24年10月に市内の家電メーカー参入で、ふるさと応援寄附が急増したこと、企業や総務省との交渉など担当職員の尽力は評価します。そのことと「官製通販」と言われる制度の欠陥は別であり、国への制度廃止を含む見直しの働きかけと市民へのサービス低下の周知を求めました。

以上、さまざま指摘しましたが、締めくり総括などで、政策評価と長期計画と予算の連動について一定の理解を得られたこと、市長が再三発言

している「職員は宝」との意識にもとづき、カスハラ・パワハラ防止や会計年度任用職員の処遇改善について全庁的な取り組みが期待できること、地域医療強化に不可欠な診療報酬増額改定や税収減が止まらないふるさと納税制度見直しなど都や国への要望が約束されたことから、すべての予算に賛成し、一般会計と国保会計は賛成多数、それ以外は全会一致で可決しました。

### それ以外の注目した予算

#### ☑ 生活安全対策事業

防犯カメラの管理・運用について、環境浄化地区などは安全対策課、市民施設は市民活動推進課、小学校通学路は教育支援課、吉祥寺は子像の周辺区域は産業振興課と、複数の所管課に分かれているため、今後は安全対策課がとりまとめるよう求めました。

#### ☑ 学童クラブ事業

いわゆるスキマバイトの支援員と補助員はおらず、今後も考えていないとの姿勢を評価します。ただ一部のクラブで入会児童増に支援員確保が追いつかないため、都による認証学童制度の補助基準を規模や区画ですぐ満たすことは難しく、移行には経過措置を設けるよう都との協議を求めました。また長期休業中の配食弁当支援は、26年度の子ども協会による完全実施にむけて、25年度は全12クラブで配食弁当の試行を求めました。

#### ☑ 友好都市アンテナショップ「麦わら帽子」や観光推進について

自立化や黒字化が目的なのか、友好都市との交流のためなら赤字でも維持するのか。次の事務事業評価を待たずに位置づけの再検討を求めました。